

平成 28 年度長島町消防操法大会

磨き抜いた「規律」と「スピード」の1本勝負



↑急に降り出した大雨にも集中力を切らすことなく競技



↑号令と共に走り出す



↑方向を確認してのホース展張



↑緊張の面持ちで操法開始合図を待つ団員



↑勢いよく走り吸管を伸張



↑第2線、全速力で走る2番員とそれを追いかける3番員



↑支部大会へ向け激励を受ける団員たち



↑号令後ホースを担ぎ走り出す指揮者

大会成績

総合の部

- 優勝 城川内分団
- 2位 中央分団
- 3位 蔵之元分団

ポンプ車の部

- 優勝 城川内分団
- 2位 中央分団
- 3位 蔵之元分団

小型ポンプの部

- 優勝 城川内分団唐隈班
- 2位 中央分団鷹巣班
- 3位 川床分団塩追班

個人賞

- 指揮者 米尾 定固 城川内分団
- 1番員 坂元 大輔 城川内分団
- 2番員 飯尾 裕樹 城川内分団
- 3番員 大堂 丈夫 城川内分団
- 4番員 宮内也寸志 城川内分団

小型ポンプの部

- 指揮者 石元 和也 (中央分団鷹巣班)
- 1番員 石塚 史郎 (城川内分団唐隈班)
- 2番員 北園 慶介 (城川内分団唐隈班)
- 3番員 湯田 智之 (城川内分団城川内班)

平成28年度長島町消防操法大会が7月3日、蔵之元漁港で開催されました。

火災現場を想定して、機械器具の操作技術と規律動作を競い合うこの大会には、町内の11分団からポンプ車の部に11チーム、小型ポンプの部に19チームが出場。団員たちは、約2カ月に及ぶ厳しい訓練の成果を披露しました。

これまでの練習を共にした団員やそれを支えてきた家族、観客が見守るなか、指揮者の「操作始め!」の号令と同時に、操作員は機敏な動作でホース展張やポンプ操作を開始。静まりかえった会場には、緊張感が漂っていました。また、競技の途中、急な豪雨に見舞われることとなった今大会ですが、選手らは集中力を切らすことなく競技に臨んでいました。

大会は、ポンプ車の部で個人賞を全て取った城川内分団が圧巻の優勝。小型ポンプの部でも同唐隈班が優勝し、8月7日に開催される出水支部大会への出場が決定しました。推戴式で川添町長は「長島町の代表として、堂々とした消防操法を披露していただきたい」と激励しました。

大会の主な成績は次のとおりです。